

## 5月5日：ベトナム株は反発も引けにかけて売り圧力が高まる

グローバル市場の上昇に従って、ベトナム株も火曜日に上昇した。しかし、引けにかけて売り圧力が高まり上げ幅を縮小することになった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.22%上昇し764.16ポイントで取引を終えた。

VN指数は月曜日には0.86%安で取引を終えていた。

出来高は2億1240万株で売買代金にして3.4兆ドンであった。

182銘柄が上昇したのに対して159銘柄が下落した。

アジア株は上昇、各国がコロナウイルスに伴うロックダウンを緩和させていることで、原油の需要が戻るのではないかという期待で米国株が上昇したのに続いた。

米国株先物は0.75%上昇した。

ブレント原油先物指数は4%上昇し28.30ドルで取引された。6営業日連続の上昇となった。WTI原油先物指数も6.03%上昇し21.60ドルで取引を終えた。

火曜日に上昇した主な銘柄は、ビナミルク (VNM) (+3%)、ペトロベトナムガス (GAS) (+2.7%)、ビンググループ (VIC) (+1%)、ホアファットグループ (HPG) (+1.9%)、VPバンク (VPB) (+1.5%)、ビンコムリテール (VRE) (+0.4%)、バオベトホールディングス (BVH) (+2%)、ペトロリメックス (PLX) (+0.7%)、FPTコーポレーション (FPT) (+0.8%)などであった。

一方、下落したのはビンホームズ (VHM) (-2%)、ベトコムバンク (VCB) (-0.9%)、サイゴンビール (SAB) (-2.1%)、ベトジェット航空 (VJC) (-2.4%)、マッサングループ (MSN) (-1.6%)、PVパワー (POW) (-1.6%)、軍隊商業銀行 (MBB) (-0.3%)、モバイルワールドインベストメント (MWG) (-0.1%)などであった。

小売、ヘルスケア、石油ガス、保険、不動産、農業、飲食料品、建設、証券、ITなどが上昇した。

それらの指数は0.09-2.42%ほどの上昇を記録した。

一方、卸売り、銀行、ゴム、運輸、水産加工などは下落した。

VN30 指数は 0.23% 上昇し 711.01 ポイントで取引を終えた。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.29% 下落し 105.41 ポイントで取引を終えた。

出来高は 2920 万株で売買代金にして 2782 億ドンであった。

バオベト証券によると、本日の取引でもセクターごとにまちまちの動きで指数は狭いレンジで推移するとのことだった。

市場は横ばいで、755-760 ポイントから 780-783 ポイントのレンジで推移するだろう。第 1 四半期の決算と 2020 年の事業計画によってまちまちの動きとなるだろうと同社は予想した。

市場は外国人投資家の売り越しと国内勢の資金流入の鈍化という状況に直面していると同社は語った。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。